

## 教育課程特例校による特別の教育課程の編成の方針等について（英語活動の実施）

### 1 岡崎市における教育課程特例校指定の沿革

岡崎市では、英語で自分の思いや考えを伝え合うことができる「英語が話せるおかざきっ子」の育成を目指し、平成22年度より教育課程特例校の指定を受け、小学校第1学年から第6学年で「英語活動」を実施してきました。

平成31年度以降、学習指導要領の先行実施に伴い、第5、第6学年で外国語科の授業時間数が週2時間に増えたことを受け、教育課程特例校による特別の教育課程の編成を小学校第1学年から第4学年までに変更しました。

### 2 岡崎市における小学校第1学年から第4学年での取組

現在岡崎市では、小学校第1学年から第4学年において「英語活動」の授業を行っています。第1学年と第2学年では、「生活科」の時間を35（第1学年は34）時間を「英語活動」に充てています。小学校第3学年と第4学年では、「総合的な学習の時間」35時間を「英語活動」に充てています。

【資料1】岡崎市の教育課程（基本案）

区 分	各 教 科										特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動 + 英語活動	総授業時数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語					
第1学年	306		136		68	68	68		102		34	34		0+34	850
第2学年	315		175		70	70	70		105		35	35		0+35	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105		35	35	35	35+35	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105		35	35	35	35+35	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	70	35	35	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	70	35	35	70		1015

各学年の「英語活動」では、毎日10分の帯時間に『OK English(約8分のDVD)』（岡崎市小学英語研究委員会の自作DVD）を視聴することで、週1コマの授業時間としています。DVDの内容は、英語の歌、フォニックス、リズムに合わせてネイティブスピーカーの後に単語や文を発音する活動、実際に動作をしながら学級の中で他の児童と会話をする活動など多岐にわたります。各学年の発達段階を考慮しながら、学級担任とともにDVDを繰り返し視聴することで、英語の音や基本的な表現に慣れ親しんでいます。

【資料2】OK English



### 3 矢作西小学校の取組

#### (1) 実施方法

本校では、13時30分から40分の「英語タイム」の時間を活用して、1～4年生は「英語活動」を行っています。

この他に、1、2年生は、ALTとのTTを年間で15時間程度行い、3、4年生はSTとのTTを週1時間、実施します。英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育てています。また、中学年で扱った語句や表現を外国語科の言語活動でも繰り返し扱うことで、高学年の内容に抵抗なく取り組み、より深い理解と表現の運用能力の向上を得ることができるようにしています。

#### (2) 学年別の指導の重点

学年	ねらい	聞くこと・話すこと
1・2	<ul style="list-style-type: none"><li>英語の音声に慣れ親しみ、英語の楽しさを体全体で味わう。</li><li>日本語との違いを知り、言葉の面白さに気付く。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>あいさつ等の簡単な英語表現を繰り返し聞き、大きな声で言う。また、身振り手振りを加え、表情豊かに発音する。</li></ul>
3・4	<ul style="list-style-type: none"><li>進んで英語学習を進めようとする態度を身に付ける。</li><li>日本と外国の生活、習慣の違いを知り、その多様さに気付く。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>英語の基礎的な音声を身に付け、コミュニケーションを図る楽しさを味わう。</li><li>ジェスチャー、スマイル、クリアボイスを意識して簡単な英語表現を身に付ける。</li></ul>

#### (3) 外国語活動の授業について

○担任の先生（T1）が授業内容を考え、ALTやST（T2）をリードしていくように、授業を行っています。担任の先生は、授業の始めと終わりに、クラスルームイングリッシュを実施しています。

○子供たちが、分かることが大事なので、日本語で指示を出す場合もあります。

##### ○クラスルームイングリッシュ（例）

###### ・授業の始まりの挨拶

担任：Let's start English class. Stand up, please. Hello, everyone. How are you?

児童：I'm～. And you?

担任：I'm～. How are you, ○○（ALTの名前）？

（もし、天気や曜日などの質問をしたいという担任の先生は、ここで行う。）

担任：Sit down, please.

###### ・授業の最後の挨拶

担任：That's all for today.

全員：Bye. （もしくは、）See you.